人のとなりに

温泉ソムリエ師範　六三四（むさし）さん

体も心も温まる温泉。本市には、地域の人に愛され、市外からのお客さんも通う温泉が多数あります。
今回は、温泉を愛し、その魅力や楽しみ方、そして、これからの賑わいなどについても考える温泉ソムリエ師範六三四さんの思いに寄り添います。

「人のとなりに」とは…
文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てることを目的としています。

温泉との出会い

「祖母と一緒に高城（たき）温泉で湯治（じ）をしたことが温泉と出会ったきっかけ」と話すのは、本市出身で温泉ソムリエ師範の六三四さん。「温泉は究極の息抜き」と言います。温泉ソムリエ認定セを持ち、温泉入浴の専門資格認定する温泉ソムリエ協会がミナーの全ての講座の講師ができる師範は全国で5人（西日本で1人）だけ。これまで全国3000カ所を超える温泉に入浴した経験やこれまで学んできたことを、年間100以上の講演の中で伝えています。

温泉の楽しみ方

「自分に合う温泉とは、入浴後に気持ちが良い状態が続くか続かないか」と言います。成分の種類などを見ると、1つとして同じ温泉はなく、温泉の効用も千差万別。自分の好みや体調に合った温泉を知り、温泉の特徴を把握しておくと温泉選びが楽しくなるそうです。

「温泉といっても、急に入るのは体に負担が掛かるため、かけ湯やかかり湯をたっぷり浴びることが大切。1回の入浴は温泉マークの湯気の本数である3回に分けて入ることが、血圧の急な上昇を抑えるおすすめの入浴法です」と言います。また、恥ずかしがらず「あ～」と息を吐きながら入浴してもらいたいそうです。そうすることで、浮力を利用したリラックス効果を得ることができるとのこと。

温泉は「諸刃の剣」

入浴で最も気を付けてほしいことは熱中症。温泉は体に良い反面、水分補給を怠ったり、無理をして長湯をしたりすると、命を落とす危険もあります。1回の入浴で約800ミリリットルの水分を失うため、入浴15分前の水分補給が重要とのこと。「寒い季節になると、血圧の急激な上下変動で起こる『ヒートショック』にも気を付けないといけないので、水分補給を忘れずに安全に楽しんでほしい」と話します。

情報発信を仕事に

温泉特有の臭いは硫黄ではなく、硫黄と水素の化合物である硫化水素。温泉でよく聞く「効能」は法律上では使われておらず、正しくは「適応症」。このような温泉に関する正しい情報を伝えていきたいと話す六三四さん。

県内各地で行っている浴育（よくいく）授業ではこれまでの自身の実体験を基に、温泉でのマナー、正しい入浴方法などのさまざまな温泉情報を伝えています。温泉に行く人が減ったこともあり、正しい情報を知らない人が多いそう。自身も幼い頃に温泉で走り、湯船で泳いで、客に叱られたことが、正しい温泉の入り方を伝える「浴育」の原点となったそうです。「高城温泉が無ければ今の自分は存在していないと言っても過言ではない」と言います。

温泉力＋α（アルファ）の力

温泉を残していくためには、歴史、自然、文化、食など、その温泉地域ならではの「独自性」を生み出していくことが重要になるそうです。また、「さまざまなデータから見ると、昔のような活気ある温泉街に戻る可能性はわずかで、『温泉力＋○○』が鍵となってくる」と言います。

どのように温泉地周辺の町づくりをしていくか、どのように温泉の魅力を若者へ発信していくか、将来の「温泉」を考える六三四さんは、これからも未湯（みとう）の地を探し求めます。

◀鹿児島温泉観光課
六三四城ホームページ

かごしま国体を契機に

10月に行われたかごしま国体のウエイトリフティング競技で、県勢は、スナッチ種目優勝、クリーン＆ジャーク種目で第２位などの成績を残しました。10月23日（月）には、選手団が表敬訪問し、国体での活躍を報告しました。

かごしま国体の剣道競技で、県勢は成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の全種別で優勝し、完全制覇するという快挙を成し遂げました。

10月24日（火）には、山下美幸（やましたみゆき）選手（成年女子）が表敬訪問し、「支えてくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいです」と話しました。

11月16日（木）、せんだい幼稚園の園児たちが、かごしま国体のホッケー競技観戦のお礼のお手紙を届けてくれました。園児の皆さんは、持参した手作りのホッケースティックやボール、キーパー用のヘルメット、応援旗などを使ってプレーも披露してくれました。

11月27日（月）、鹿児島クラブ、樋脇ホッケースポーツ少年団、川薩清修館高等学校男子ホッケー部の代表者が表敬訪問しました。

かごしま国体以降も、全国大会優勝などの躍進が続いており、U12ホッケードリームキャンプ（全国選考会）に参加する樋脇ホッケースポーツ少年団の３人は、「代表に選ばれるよう頑張ります」と力強く誓いました。

地域の方々とふれあい交流

11月９日（木）、東郷幼稚園で、イモやコメの植え付けから収穫までお世話になった斧渕地区コミュニティ協議会の方々を招待し、ふれあい交流（さなぼい）を行いました。

子どもたちによる舞台発表の後、一緒に遊んだり、収穫した食材を使った料理の試食をしたりしました。また、子どもたちから感謝状の贈呈もあり、楽しい時間を過ごしました。

甑ミュージアム開館プレイベントを開催

11月11日（土）、鹿島公民館で、小西卓哉（こにしたくや）氏（米シンシナティ大学）による化石講演会を行いました。

これまでに甑島で見つかった化石も含め、白亜紀末に海の食物連鎖の頂点まで上り詰めたモササウルス類の進化や生態に関する講演に、参加者は進化の過程や研究の変遷を学びました。

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供いただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。